

# 洗濯機の歴史

せんたくき れきし

1930年に発売された洗濯機が右の写真のものです。当時の値段で370円。そのころの銀行員の平均月給が70円でしたので、ほとんどの人には買うことができませんでした。



太平洋戦争が終わり、平和がもどってきた昭和27年（1952年）に左のような洗濯機が売り出されました。とても人気があったそうです。



その次に登場したのが、脱水ができる洗濯機。ローラーの中に衣類をいれて水を絞るものでした。



1965年ごろになると、洗濯をする場所と、脱水する場所の2つがついた洗濯機が人気になりました。



この時期になって、ようやく日本のほとんどの家庭に電気洗濯機がおかれるようになったのです。

さらに電気洗濯機は進歩を続けます。今までは洗濯をする場所と脱水をする場所がちがっていたところを、全自動ですべてやってしまう洗濯機が登場しました。これが1985年ごろです。



そして、今では当たり前になっていますが、脱水のあと、乾燥までしてくれる洗濯機が出始めました。そして、今のほとんどの家庭に、このような洗濯機が置かれているのです。

